

伊勢・三河湾貧酸素情報 (R1-21号)

令和元年10月18日
愛知県水産試験場 漁場環境研究部

令和元年10月15日に伊勢湾、10月15、16日に三河湾において貧酸素水塊の調査を実施しました。その結果は下記のとおりです。

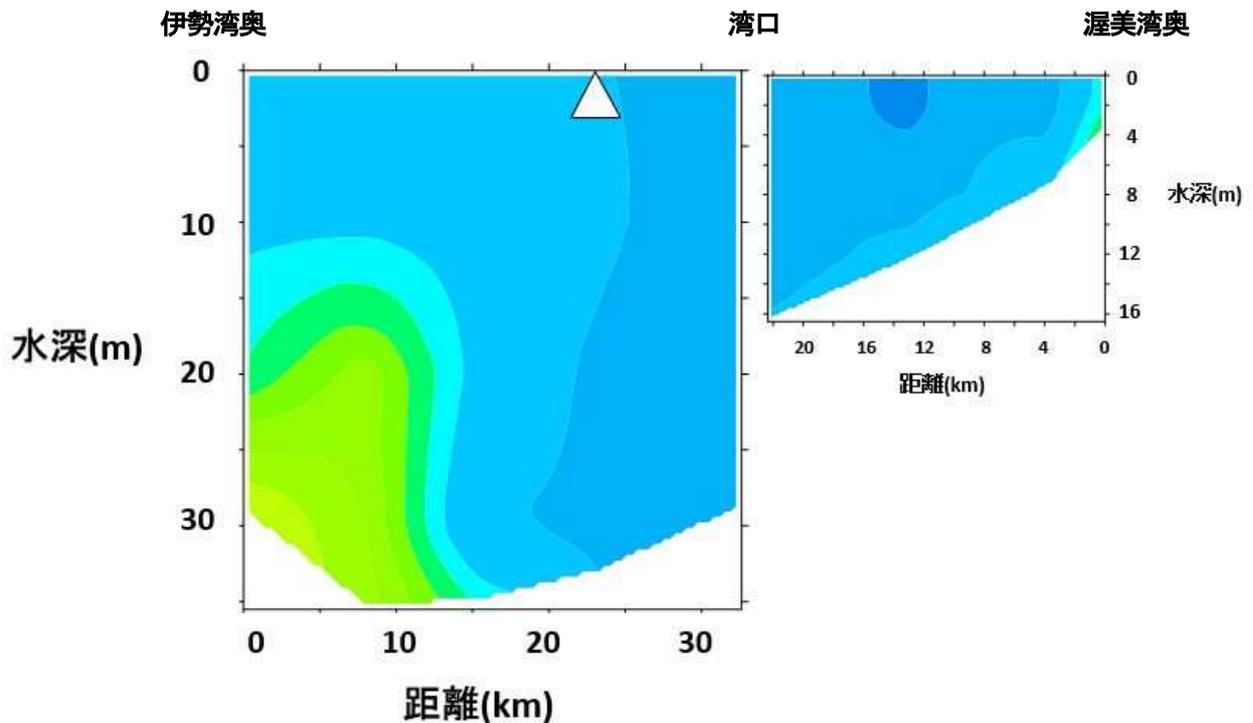
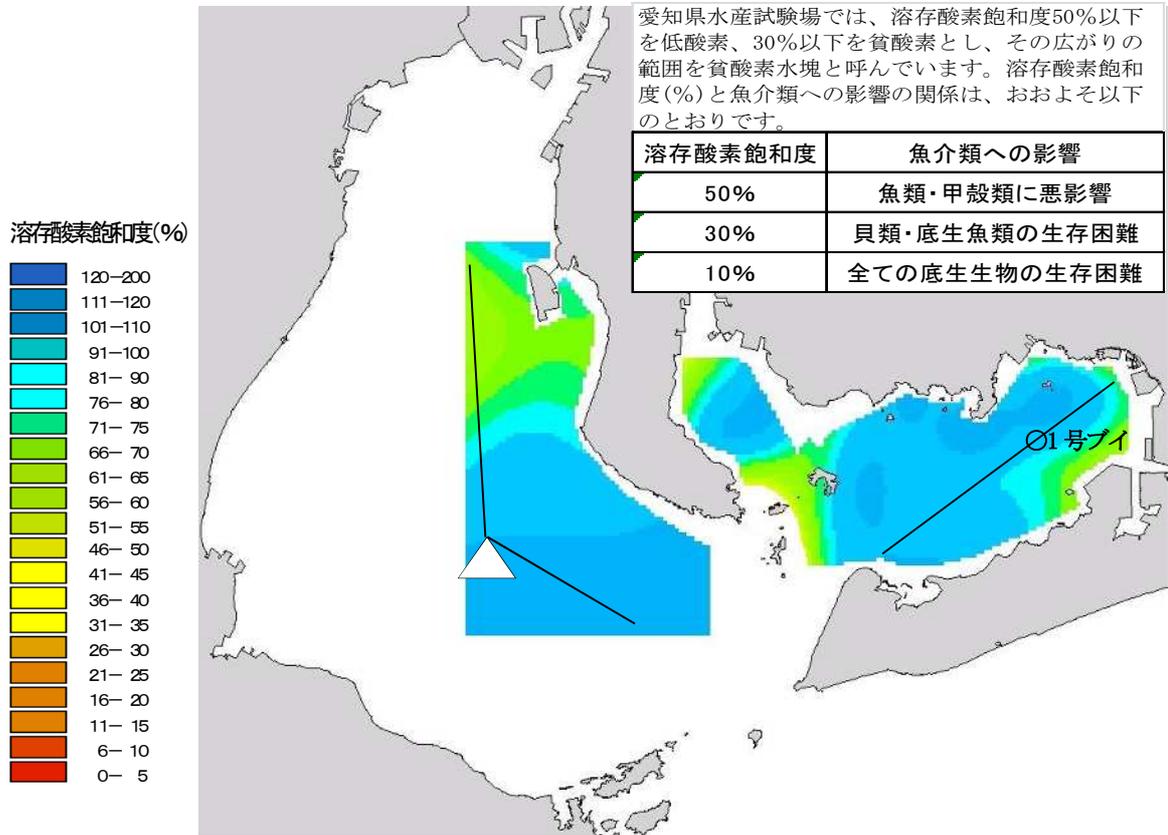


図1 伊勢湾 (10月15日)・三河湾 (10月15、16日) 底層の溶存酸素飽和度の分布 (上図) 及び上図直線部分の鉛直分布 (下図) (愛知県「へいわ」調査)

伊勢湾

10月15日の調査結果を図1に示しました。前回調査（10月1日）で確認された伊勢湾東部の貧酸素水塊は解消していました。

水温の表底層差がなくなり、海水の上下混合が起きているため、今後、貧酸素水塊は発生しにくくなるものと考えられます。

表1 調査時の水温・塩分

	水温(°C)	塩分
表層	23.1~23.9	30.0~32.1
底層	23.2~24.3	30.6~32.7

三河湾

10月15、16日の調査結果を図1に示しました。前回調査（10月1、2、3日）で確認された貧酸素水塊は解消していました。

三河湾海況自動観測ブイ1号ブイ（蒲郡沖）では、台風第15号の接近に伴い、10月3日から4日にかけて風速5.0~10.8m/s（平均7.8m/s）の東南東から南西の風が断続的に吹いた影響により、貧酸素水塊が解消しました。その後、貧酸素水塊は観測されませんでした。

水温の表底層差がなくなり、海水の上下混合が起きているため、今後、貧酸素水塊は発生しにくくなるものと考えられます。

表2 調査時の水温・塩分

	水温(°C)	塩分
表層	21.5~24.3	20.1~31.0
底層	22.3~24.2	29.3~31.9

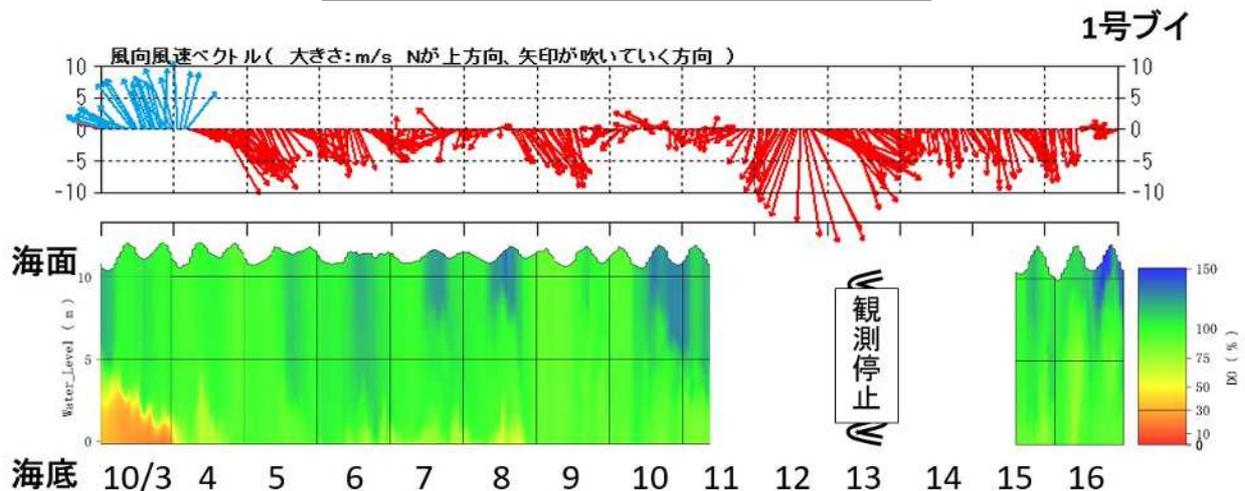


図2 風向風速の経時変化（上図）及び溶存酸素飽和度（DO）の経時変化（下図）
（三河湾海況自動観測ブイ1号ブイ）

参 考

前回調査時の底層の溶存酸素状況 (図3)

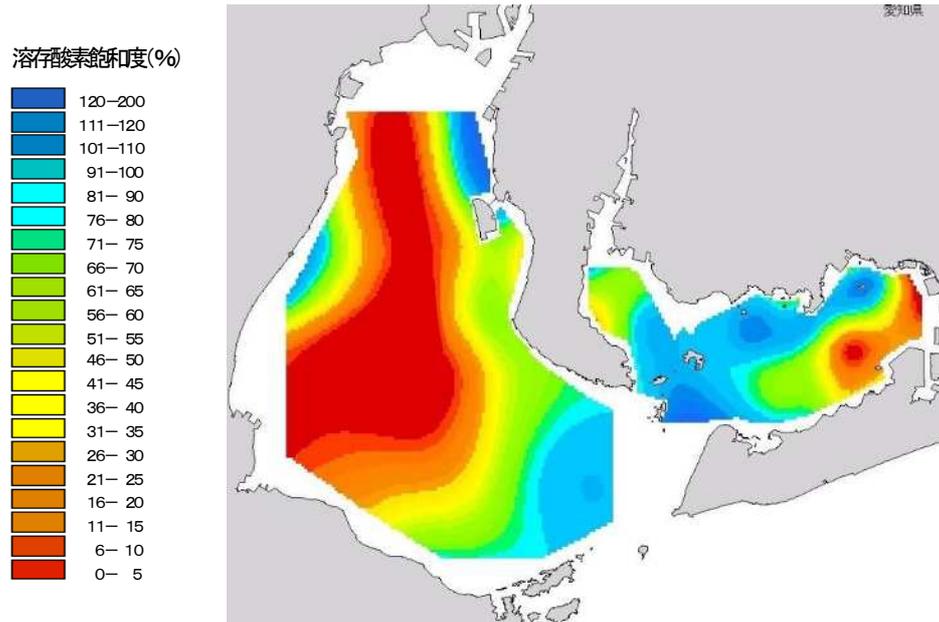


図3 令和元年10月1日 (伊勢湾)、10月1、2、3日 (三河湾)